

完成目前！長野市芸術館にご期待を！

NCAC-near-completion!!!

広報誌準備号 | vol.05 | 無料



長野市芸術館  
NAGANO CITY ARTS CENTER

長野市芸術館を  
ぜひお使いください。

利用申込、受付中です

平成28年8月ご利用分より

詳しくは、長野市芸術館公式ウェブサイトをご覧ください。

長野市芸術館 利用申込 | Q

長野市民会館は「長野市芸術館」として、  
生まれ変わります。その最新トピックス  
などをこちらでお届けします。

vol.05 発行 ● 2015年10月6日

発行元

一般財団法人 長野市文化芸術振興財団  
長野県長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室  
TEL: 026-219-3100 FAX: 026-219-3110  
info@nagano-arts.or.jp

長野市芸術館 | Q

<http://www.nagano-arts.or.jp>

◎本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます

## 長野市芸術館に、 期待することって？

長野市で活動するクリエイターに、思いきって聞きます！

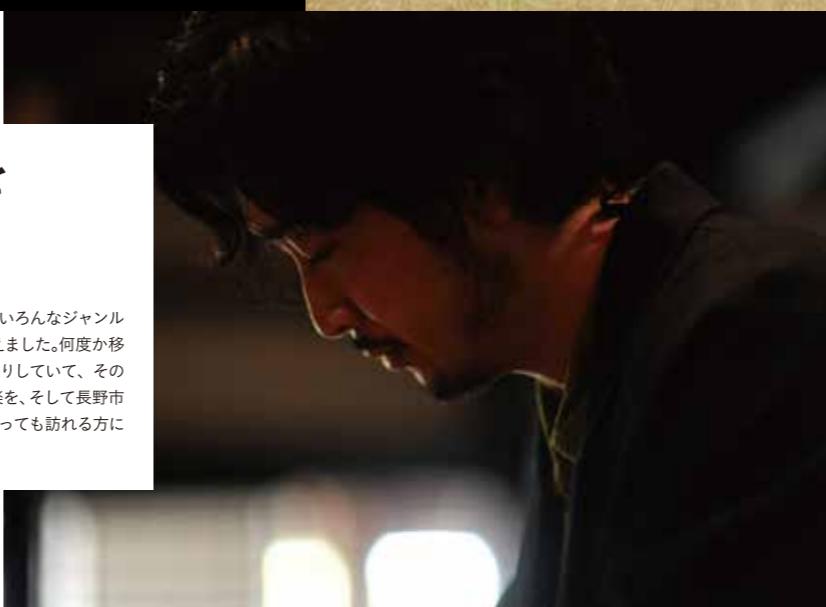
いよいよ!!月末に建物が完成、そして、来年5月に開館予定の長野市芸術館。長野市芸術館が企画実施する公演(主催事業と言います)を数多く予定している一方で、市民のみなさまにもたくさんご利用いただけます。新しい文化芸術が、長野市芸術館から生まれていく！そこで、完成間近のこのタイミングで、あらためて長野市で活動するクリエイターのみなさんへクエスチョン。

We expect a NEW TREND

音楽を通じてその街の事を  
深く知るきっかけになる。

平松良太さん (作曲家、ピアノ奏者)

年に数回、作曲のレッスンのために上田市に訪れていたのがきっかけでいろんなジャンルの方々と親しくなり、長野市や北信でのコンサートの機会がぐっと増えました。何度も移住も勧められているほど(笑)。長野は衣食住に対しての考え方がしっかりしていて、その中に音楽も無理なく入っていく、風通しの良さがあると感じます。音楽を、そして長野市芸術館を通じて、その街の事を深く知るきっかけになれば、住む方にとっても訪れる方にとっても、幸せな良い関係を築く事が出来るのではないかでしょうか。



©Satoko Maeda

アクトスペース(小ホールB)は手強そうだけど、  
演出家としてやりがいをすでに感じる。

長峯亘さん (劇作家・演出家)

長野市芸術館という劇場が生まれることは創り手としてすごくうれしいです。年に1回ぐらいは劇場でやりたいです。私はこれまで、劇場でない場所をいかに工夫して演劇をやるか、という視点から作品を何年も創ってきました。それはそれでおもしろいのですが、劇場でやるからには演出の観せ方も違う。芸術館のアクトスペースは手強そうだけど、その分、演出家としてのやりがいをすでに感じますね。

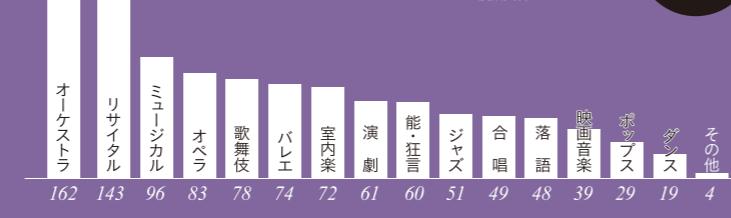


芸術館で、楽しみたいのは、どのジャンル？

長野市のみなさん281人に、アンケートを実施しました!

※複数回答あり

Question!



◎本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます

ジャンルを超えて、表現活動の基点へ。  
松田眞佳さん (アーティスト)

長野市芸術館は、音楽と演劇に強いホールになるんですよね!? アート(美術)もぜひ絡んでいけたらいいなと思います。テーマをもとに、ジャンルを超えて長野市の表現活動の基点となるような場所になって欲しい。芸術(に限らなくても)のいろんなジャンルがクロスオーバーするのはとても刺激的だし、発想も豊かになるし、何よりも表現の可能性を広げます。私たちのような世代も熟年世代も、垣根を超えて継続的にできるプロジェクトをしたい!

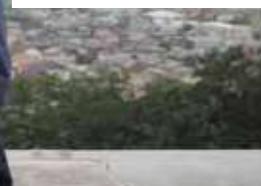


街の自慢になる、  
公共ホールになれば。

安斎高志さん

(長野市のウェブマガジン「ナガラボ」プロジェクトリーダー)

「ごく普通の生活の中に、上質な文化芸術に触れる機会がある」。長野市芸術館が出来ることで、そんな日常が送れるようになってほしいです。特に子どもたちって感受性が豊かなので、多くの接点があればと願います。私は、1ターンをして他県からこの長野市に移り住んでいるのですが、今思うと、自分の生まれ育った町で、上質な文化芸術に触れる経験って少なかったように感じて…。親しみやすく、街の自慢になる公共ホールになればいいですね。



creating from NCAC



長野市が、新たな熱量で  
盛り上がって欲しい。

本藤麻以さん (デザイナー)

長野市芸術館は「主催事業」のあるホールですね。館自ら公演をプロデュースするということは、各公演に対する思い入れが強くなると思います。こういう気持ちちは大切だと思っていて。デザインの仕事でも同じ事が言えて、意識の高いプロジェクトはデザイナーとしてやりがいを感じるし、その思いをより正確に伝えることができます。そういう意味で長野市の文化芸術が、これから新たな熱量を持って盛り上がっていくことを期待します。

## From the Rehearsal Site of Play



©谷吉宇正彦

## 演劇「父よ！」、稽古初日に行ってきました。

2015年9月8日、稽古場・水天宮ピットに潜入！

9月8日、演劇「父よ！」の稽古初日が行われました。稽古場となった東京・水天宮ピットは、都立日本橋高校の旧校舎を再活用した空間で、どこか教室のあたたかみが残る雰囲気。キャストやスタッフの顔合わせから、和やかな空気が流れているのはそんな「場」のせいもあるかも知れません。ひとり通り挨拶が終わると、いよいよ本読み。今回は、キャストやスタッフたちが初演時に作り上げたものを、2年ぶりに確認し合い、そして再演に向けた課題や更におもしろくなるための試行錯誤の始まりといったところでしょうか。談笑が交じり、チームワークの良さが伺えながらも、独特のビリッとした緊張感が稽古場全体に漂います。

演出家の田村孝裕氏は「2年ぶりだからといって敢えて（演出を）変えようとはしないつもり。初演からの月日そのものが、自然とこの作品を深め、高めてくれているよ

うに思います。ただ、初演と今回の再演とで世の中の状況も変わっているし、お客様の受け止め方も違うと思う。そこはこれから稽古で手を入れていくことになると思う。初演の時と変わらず、出演者や僕らがおもしろいと思うことができれば」とのこと。

この「父よ！」は、親と子ども、兄弟、といった肉親関係がテーマになっていて、それはまさに普遍的なもの。時代とともに変わるところもあれば、変わらないところもあり、それぞれの歳月のバックボーンを重ねて演じることで、作品そのものに更にリアリティを持たせてくれるのだろうなと期待が自然と高まる、そんな稽古初日の現場でした。長野公演までは、あと1ヶ月ちょっと。これからどう仕上がって来るのか、待ち遠しい気持ちで稽古場を後にしました。



## 「父よ！」

作・演出一田村孝裕  
出演=平田 満／ベンガル／徳井 優  
花王おさむ／井上加奈子

「黄昏の四兄弟に明日はあるのか？」

男ばかりの四兄弟が実家に集まり、父親の面倒を見る見ないでやりあう姿を描いた、笑いと哀しみが同居するハートウォーミングな演劇作品です。ベテラン俳優陣の競演をお楽しみください。

10月17日(土)

14:00 開演 (13:30 開場)

長野市松代文化ホール

全席指定 3,600円(税込)

★公演終了後、出演者によるポストトークがあります  
★未就学児の入場は、お断りしています

残席僅少！

## Count down the days to completion

## 建設現場はついに最終段階。

建設状況リポート (2015年9月)

前号で大きくご紹介した建設現場の状況が、更に進んでいます。工事用仮囲いが外されてきた外観を、昭和通り沿いから、ご覧になっている方も多いはず。内部もだいぶ完成に近づいています。期待が高まりますね。

2015年11月に完成予定の長野市芸術館（および長野市役所第一庁舎）。完成目前にして、外観も内観もみるみる姿を現してきています。9月末の段階で約90%、工事完了！ 完成予想図のバス図と比較してみても、出来上がりがかなり見ええてきます。あと一步！

- ①メインホール（大ホール）客席足場が解体され、広々とした空間が見えてきました。ステージの設置も始まっています
- ②リサイタルホール（小ホールA）の床仕上げも順調に進んでいます。客席が設置されるのも間近です
- ③リサイタルホールの完成予想図（バス）



【建設に関するお問い合わせ】  
長野市 第一庁舎・長野市芸術館建設事務局  
TEL / 026-224-0345  
E-mail / city-hall@city.nagano.lg.jp

## Bookmark our Site!!

## ウェブで最新情報をチェック。

長野市芸術館 <http://www.nagano-arts.or.jp>

### Nチケ会員

開館記念イベントから、今後の芸術館の公演や催しのチケットをウェブで購入できる会員制度です。すでに会員の数は600人以上！ ぜひ、ご登録を！

- 入会や会費は、無料！
- 最新情報 メルマガ配信！
- 会員限定チケット先行予約！

### YouTube

動画共有サービス「YouTube」にて、芸術館専用のチャンネルをつくりました。名称は「長野市芸術館(NCAC)チャンネル」です。動画による事前告知やリポートをお楽しみください。



長野市芸術館 Facebook ページも継続中。開館前だからこそ伝えたいトピックスを中心に、プレ事業などの情報を随時更新しています。

## The last issue of this magazine

## これで、「プレ」もひとくぎり。

### “プレ”広報誌、最終号です

昨年、7月より発行してきた「プレ広報誌」。今回の第5号をもって、終了となります。そして、いよいよ「プレ」の取れた広報誌が始まります！ 一層充実した内容をお届けしますので、乞う期待を！

